

一般財団法人 建設工学研究所

平成 29 年度 学 術 講 演 会

日 時 平成 29 年 11 月 17 日 (金) 13 時 15 分 ~ 16 時 50 分
会 場 兵庫県民会館 11F パルテホール
(神戸市中央区下山手通 4 丁目 16 番 3 号) TEL 078-321-2131
交 通 JR・阪神「元町」駅から徒歩 7 分。 地下鉄山手線「県庁前」駅から 50m
参 加 費 無 料

プログラム

司 会 業務執行理事 澁 谷 啓

開 会 13 : 15

開会挨拶 代表理事 沖 村 孝

講 演 13 : 30 ~

(1) 空間ビッグデータを用いて都市問題を考える

神戸大学大学院工学研究科 准教授

澁 谷 創

(2) 波・流れと水生生物の相互干渉とブルーカーボン研究

神戸大学大学院工学研究科 教授

所 員 中 山 恵 介

~ 休 憩 ~

(3) 開港 150 年を迎えた神戸港の取り組み

神戸市みなと総局技術部長 西 村 一 郎

閉 会 16 : 40

閉会挨拶 理事 森 川 英 典

意見交換・交流会 (会費制)

17 : 15 ~ 10F 福 の 間

問 合 先

一般財団法人 建設工学研究所 事務局
〒657-0011 神戸市灘区鶴甲 1 丁目 3 番 10 号
TEL 078-851-1850 FAX 078-851-5454
E-mail : office@kensetsuk.or.jp
<http://www.kensetsuk.or.jp>

講演概要

1. 空間ビッグデータを用いて都市問題を考える

瀬谷 創

近年、GPS の利活用の進展と相まって、位置情報を持つ空間ビッグデータが蓄積・分析され、都市問題に対する我々の理解を深める一助となっている。また、統計法の改正により、国の統計調査の二次利用が比較的容易になり、従来は難しかった、都市政策の影響評価ができる土台が整いつつある。さらに、オープンデータの流れの中で、交通事故や犯罪情報といった自治体や警察のデータの公開も進みつつある。このような中で、本講演では、「空間統計学」という分野の手法を駆使して、空間ビッグデータを分析したいくつかの最新の事例を紹介する。

2. 波・流れと水生生物の相互干渉とブルーカーボン研究

中山 恵介

沿岸域や湖沼における水生植物や水生生物は、波・流れとの相互作用により複雑な流況場を生み出す。そのため、ブルーカーボンとして効果が期待されているアマモ場における炭素貯留量の推定が困難となっていたり、波浪により回転することで巨大化するマリモの形成過程が未解明であったりし、波・流れと水生生物の相互干渉を解明できる数値計算手法の開発が必要とされている。しかし、これまでの数値計算手法では、アマモ場やマリモ群生地といった水圏における解析を実施するために多大なコンピュータ容量やコストが必要となり現実的ではない。そこで本発表では、水圏という大スケールの流動解析と、個々の生物を対象とした小スケールでの変動を、通常の PC でも容易に連成することが出来るモデルの紹介を行う。波・流れと水生生物の相互干渉という生物スケールでの解析が必要で

ある一方で、アマモ場についてはマクロ的な炭素貯留量の解明が重要である。そこで本発表において、実際の水域を対象とした炭素貯留に関する検討結果を紹介する。

3. 開港 150 年を迎えた神戸港の取り組み

西村 一郎

神戸は 1868 年 1 月 1 日の開港以来、港とともに発展し、2017 年に開港 150 年を迎えた。神戸港は自然条件に優れた天然の良港として、古くは奈良・平安の時代から大陸との交流拠点として賑わい、1868 年の開港後は、諸外国との様々な交流を重ねつつ、開放的で創造性に富んだ独自の神戸文化を培うとともに、国際貿易港として世界を代表する港へと発展し、我が国の国民生活や産業基盤を支えてきた。

1995 年 1 月に発生した阪神・淡路大震災では、神戸港をはじめ神戸の街は甚大な被害を受けたが、日本そして世界中の方々から支援を受け、復興し、神戸港も震災前の水準までコンテナ取扱量が戻りつつある。また、神戸港は日本のウォーターフロント開発の先駆けでもあり、神戸の文化・産業の礎としてこれまでも成長してきた。

神戸港を取り巻く環境が、メガキャリアと呼ばれる船社の統合や大規模なアライアンス再編などにより大きく変化するなか、神戸港の物流及びウォーターフロント開発に関する現在の取り組みと今後の展望を報告する。

《 会場案内 》

兵庫県民会館

住所：〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

電話：078-321-2131

当会館までのアクセス

JR・阪神「元町」駅から北へ徒歩約7分

地下鉄山手線「県庁前」駅 東出口1から右へ50m

